

第1回市民意見交換会

日時：平成24年 1月13日（金）

開場 18:00

開演 18:30 終演 20:30

場所：小田原箱根商工会議所 Aホール（事前申込み不要）

■ 開催趣旨

小田原市では、太陽光発電を始め再生可能エネルギー導入の促進事業を立ち上げるための協議会を設立し、事業化に向けての調査・検討を行っております。国内の先進事例である飯田市の取組と協議会の活動について紹介するため、この度市民・企業の皆さんとの意見交換会を開きます。

■ プログラム

1. 講演

「市民の意思あるお金で取り組む、再生可能エネルギーの普及促進」

おひさま進歩エネルギー株式会社 代表取締役 原 亮弘氏

2. 小田原再生可能エネルギー事業化検討協議会 概要説明

3. 参加者との意見交換



■ 講師プロフィール

おひさま進歩エネルギー株式会社

代表取締役 **原 亮弘**（はら あきひろ）氏



<略歴>

1949年 長野県下伊那郡鼎(かなえ)村（現飯田市）生まれ

2004年 2月 NPO法人「南信州おひさま進歩」設立

12月 おひさま進歩エネルギー有限会社設立

2007年 11月 おひさま進歩エネルギー株式会社代表取締役

<活動概要>

エネルギーの地産地消による持続可能な社会を実現するために、市民の力を集めて環境エネルギー事業を行っていく方法として全国初の「太陽光発電の市民出資」という仕組みを構築する。現在では市民出資で設置された太陽光パネルは南信州地域を中心に160ヶ所余りに拡大し、グリーン電力事業・省エネ事業や木質バイオマスを利用した熱供給事業も展開中。また、NPO法人南信州おひさま進歩を通じて「環境保全」「まちづくり」「社会教育」「子供たちへ環境教育」「他団体への連絡・助言・援助」などの活動も行う。

■ 「小田原再生可能エネルギー事業化検討協議会」について

平成23年3月に発生した東日本大震災により生じた計画停電は、地域社会に大きな不安を与えるとともに地域経済にも大きな影響を与えました。このことを契機にして、地域で消費するエネルギーをできる限り地域でつくり、エネルギーに起因する様々な問題（安全安心なエネルギー源の確保、エネルギー価格の高騰等）に強い地域社会を目指すべきとの声が高まっています。また、再生可能エネルギーの導入は地域経済の活性化にもつながる可能性があることから、「小田原再生可能エネルギー事業化検討協議会」を立ち上げ、再生可能エネルギー導入の事業化の検討を行うものです。

なお、この取組は環境省が募集をした「平成23年度地域主導型再生可能エネルギー事業化検討業務」に採択され、国や専門家（一般社団法人日本再生可能エネルギー協会（JREP））からの支援を受けながら、事業化モデルを検討していくものです。